



明日があるさ通信

さくらが丘子どもセンター
放課後児童クラブ便り
令和 5年 2月 2日 No.11

「冬来たりなば春遠からじ」

2・3月の予定

- 2月4日(土) 冬バス旅行(あすなろ子どもセンター合同)
- 3月24日(金) お別れ会
- 3月25日(土)～4月7日(金) 春休み
- 3月29日(水)～3月31日(金) 自由登所

さくらが丘子どもセンター職員の

むかしばなし



たけもと まさと
竹本 温和

《僕が通っていた子どもセンター》

僕も小学生の頃、あすなろ子どもセンターを利用していました。当時は保育園の事務室の二階の部屋でみんな一緒に過ごしていました。利用人数もそこまでいなかったので、6年生も利用しており、僕も6年生の途中までは利用させてもらっていました。

途中からは、別の建物(現理事長が元々住まれていた家)で過ごすことになりました。部屋に置いてあった名探偵コナンの漫画に夢中で、宿題を学童でしようとしなかったのが、当時おられた先生方を困らせていたというのが今でも記憶に残っています。

当時バス旅行や雪あそびなどの行事がもしかしらあったのかも知れませんが、やはり小学生の頃の記憶は曖昧なもので覚えていません。

学童の支援員としての思い出などは、しっかりと覚えておきたいと思えます。



おしらせ・おねがい

・2月中旬までに来年度の入所が決まった方に入所決定通知書を配ります。一緒に児童票や児童の写真及び動画掲載確認書、児童連絡カード(新一年生のみ)を配布するので、提出をよろしくお願いいたします。提出期限は決まり次第お知らせします。

・2/4(土)はあすなろ子どもセンター合同の冬バス旅行です。当日については、掲示板またはメールをよく確認して参加してください。ご協力よろしくお願いいたします。

1月の後半は、今までにない寒波で日本列島中が震えました。私の記憶の中でも、岡山県でマイナス15度という冷え込みは経験したことがありません。保護者の皆さんや職員の皆さんは、それぞれの職場へ行くだけでも一仕事という、たいへんな月だったことでしょう。

日本では2月になると、立春からは暦の上では春が始まります。寒い中にも、自然の中では春を感じて、少しずつ変化が見られる頃です。わが家の庭でも、梅の木にはそろそろつぼみとなる芽が見られるようになりました。梅の別名は「春告草(ハルツゲグサ)」ともいいます。まさに、春の到来を真っ先に教えてくれる役割を持つ、大切な木だと感じます。

自然や冬の景色を見ていると、そこから人間にたくさんのことを教えてくれているように感じることがあります。外の様子だけ見ると、雪に埋もれて何も無いように見える木々が、実は少しずつ春の準備をしていること。厳しい冬の中で冬を越す、雪深い地域の方が、雪の中に野菜を入れておくとうまくなるんだよ、と笑いながら話す笑顔。毎日雪かきでたいへんだろうと思えるのに、文句一つ言わずに屋根の雪をせっせと下ろす人々。そんな風景や日常の様子を見ていると、すぐ不平を言いそうになる自分を反省してしまいます。

私たちはふだんの生活の中で、当たり前だと思っていることが、自然災害や厳しい気候の中では、実は当たり前でなかったと気づくことがあります。寒い冬で水道管が凍結し、断水になった地域があります。水は、蛇口をひねれば出るのが当たり前だと思っていると、早く直せと文句が出ます。しかし、実はありがたいことだったと思うと、次に使う時に、感謝の思いがわいてきます。

一つのでき事をどう思うかという思いでとらえるかで、実は気持ちまで変わってくることはよくあることです。一つ一つのことばに腹を立てていると、怒ることに忙しく、日々を穏やかに過ごす生活とは縁遠くなっていってしまいます。

その昔、わが子が小さかった頃、私も笑うことが多かったように感じます。こどもがそこにいるだけで笑顔になることも多く、今ではとても貴重な時間だったと思えます。子育て真っ最中のお母さんやお父さん方が、こどもといられる時間というのは、実は人生の中のほんの短い時間です。ならばどうせなら、少しでも笑って過ごす時間をとりながら、子育てを楽しみ、そして自分の人生をも楽しみながら日々を送ってほしい、というのが年配の私から皆さんへ送るメッセージです。

きっと毎日は無理無理、と思うのは当然です。だってそれができないから、日々の悩みが出るものですから。そこで、私の提案は、週に一度「スマイルデー」をつくることです。その日はちょっとイラッとするのがあっても、顔を引きつらせながらも笑ってみる。心がザワツとする場面があっても、「私がいるからこれであなたも大丈夫なんだよ」と上から目線で許してみる。何か頼まれることがあったら、心で「何でよー」と思いながらも、こぼった笑顔で「いいよー」と明るく答える。

そんな自分を想像しただけで笑えてきませんか。そう、笑ったものの勝ち!なのです。笑ったあなたはもう幸せの切符を手にしたも同然ですから、どうやってもハッピーな人になるのです。野菜でも、厳しい冬を超えた後は甘さがぐんと増すと聞きます。厳しい現実を乗り越えたあなたには、きっと大きな幸せが待っている!(はず)。大丈夫、長年生きてきた私が言うんですから、まちがいない!(はずだよ)

さくらが丘子どもセンター 所長 杉井 康志

さくらが丘子どもセンターのHPには、下のHPアドレスまたはQRコードよりアクセスできます。

URL: <https://sakuragaokakodomo.okayamakodomokyoukai.jp>



放課後の

おもしろさ

いろいろな場所から雪を集めて雪玉に！「冷たい」といながら顔は笑顔な子どもたちでした。



おもちゃクラブの名前を作りしました。いろいろな色を使ってカラフルです。



今月は延期になっていたおもちつきや雪が積もるなど、子どもたちがわくわくする出来事がたくさんあった月になりました。風が冷たく寒い日が続いていますが、子どもたちは外あそびを楽しんでいます。中には汗が出るまで走っている子もいます。雪が降った日には子どもたちは大興奮でした。雪をいろいろな場所から集めて大きな雪玉を作ったり、砂場のおもちゃで型抜きしたりなど、いつもと一味違うあそびを楽しむことができました。



福笑いに挑戦中です。どんな顔ができるかな？

雪の上をすいすいとスピードスケートのよりに滑っています。



ドミノ全部倒れるかな？じっと見守っています。



連続で何回飛べるかチャレンジ！最高記録は几人かな？



本棚を整理整頓中です。きれいに片付いていると気持ちがいいですね。



園庭でタッチボールを楽しんでいます。一年生も早い球を投げています。



カードゲームで盛り上げています。素早くカードを全部出せるかな？

もちつき

延期していたもちつきをあんずの家と合同で行いました。たくさん的小朋友が参加し、交代しながらもちをつきました。杵でつく体験は子どもたちにとって貴重な経験になりました。もちをつく際に「よいしょー！よいしょー！」と大きなかけ声もあり、ついてる人も待っている人も一緒に楽しむことができました。ついたもちはきなこ砂糖醤油でいただきました。もちは少し粒が残りましたが、自分たちでついたもちの味は格別だったようでかわりも行列ができていました。日本の伝統行事これからも子どもたちと一緒に楽しみたいと思います。

